

F P まつもと通信

知って得する「お得な情報」と「r（アール＝資本所得）」をお届けします。

ご挨拶

新しい年を迎え穏やかに過ごしたの事と思います。2022年が皆様にとってより良い年になるようお祈り申し上げます。

令和4年のお正月いかがお過ごしでしたか？

私は、年金や医療制度などが大きく変わっていきな、私たちF A（ファイナンシャルアドバイザー）の果たす役割は益々重要になっていく、と決意も新たにしましたところ。

今年の干支「壬寅（みずのえ・とら）」は、「陽気を孕み、春の胎動を助く」、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるという意味のようです。

コロナが終息し明るい年になると良いですね。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

今年こそ家計簿を、とお考えの人もいるのではないのでしょうか？ 家計夢ノートを参考にして貯蓄を増やしていきませんか？

介護保険料滞納 差押えの高齢者初の2万人

厚生労働省が11月に発表した「令和2年度介護保険事務調査の集計結果について」によると介護保険料を滞納し財産を差押えられた65歳以上の高齢者は21,578人と調査依頼初めて2万人を超えました。

平成27年に1万人を超えてから6年連続の増加です。

増加の原因としては、徴収する自治体が徴収業務に力をいれたこと、介護保険料が制度開始時と比べ倍以上になり高齢者世帯への負担が増したことがあげられています。

下表は介護保険制度開始時点と現在の保険料と介護費用を比べたものです。

保険料		介護費	
第1期 (2000 - 02年度)	2,911円	2001年度	4兆3782億円
↓		↓	
第8期 (2021 - 23年度)	6,014円	2020年度	10兆7783億円

介護は財源だけでなく、それを支える人材の確保・育成という課題があります。

今後は負担の在り方も変わっていくことが予想されますので、出来る準備はしっかりとしておくことが大切です。



F P 松本相談センター
ファイナンシャルアドバイザー
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250

090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

<https://fp-matsumoto.com>

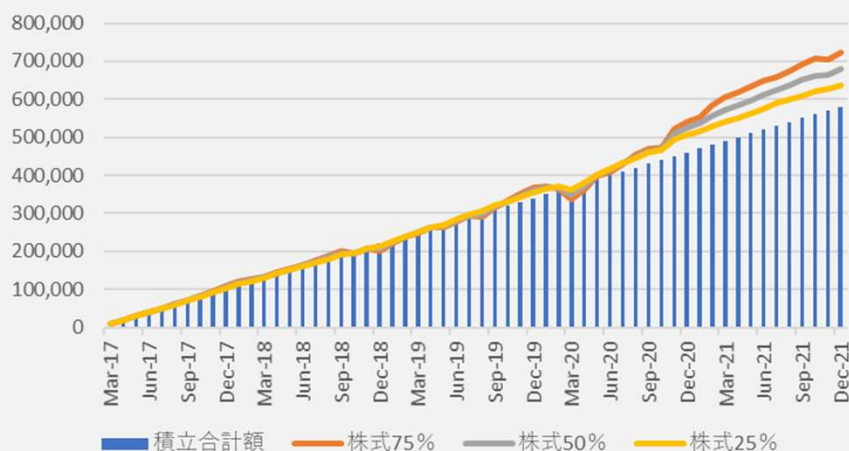


2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。

国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2021年10末	560,000	706,416	662,180	619,862
2021年11末	570,000	704,293	663,937	625,648
2021年12末	580,000	723,766	679,721	637,917

2017年3月から開始した積立投資は図表のようになりました。

確定拠出年金のような長期の積立投資で成果を得るためには以下のポイントが大切です。

投資期間に応じた資産配分

積立期間が長い場合には株式の比率を多く、受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

大幅に値下がりした場合

積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する。

株式・債券の特徴を理解して長期継続する。

株式や債券の特徴をよく理解して、様々なニュースや情報に惑わされず投資を長期継続することが成果に結びつきます。

	日経平均	NYダウ	ドル円
11月末	27,821.76	34,483.72	113.13
12月末	28,791.71	36,338.30	115.07
	3.49%	5.38%	

2021年は日米とも値上がり

2021年の株式市場は日米とも値上がりしました。

NYダウ平均株価は、2020年末の30,606.48→36,338.30、と5,731.82ドルの値上がり、日経平均株価も2020年末の27,444.17→28,791.71、と1,347.54円の値上がりでした。

各国政府による支援策、ワクチン接種の進展による経済活動のさらなる正常化期待、により株式市場は上昇しました。

2022年も当面は以下に注目が集まっているようです。

- ・金利上昇とインフレ懸念
- ・新型コロナ変異株の状況
- ・中国（人権をめぐる対立・不動産企業の破綻懸念）

これらについて予想外に悪い状況になると株式市場は大きく下がることもあるかもしれません。

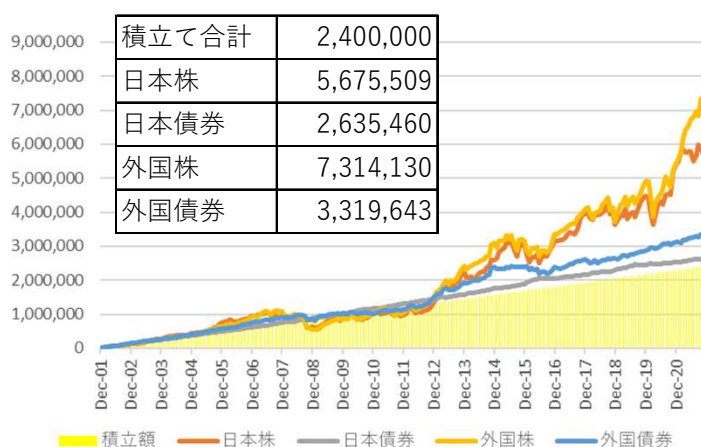
大きく値下がりすると不安に感じることもあるかもしれませんが、長期の積立投資では、日々の値動きやそれを解説するニュースに惑わされずに継続することが大切です。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

20年間の積立ての結果

確定拠出年金が始まったのは2001年10月。この20年間、選んだ商品によるパフォーマンスの違いがどうだったか整理してみましょう。

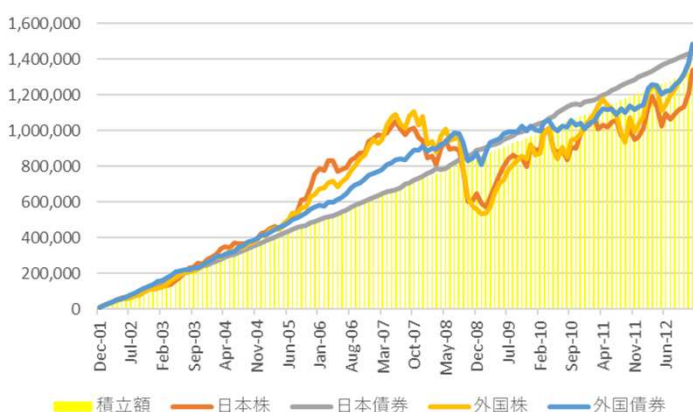
下図は実際に販売している投資信託に毎月1万円の積立をしてきた場合を表しています（2001年12月～2021年11月）。



最も資産を殖やしたのは外国株を選んだ人で、240万円が730万円になっています。一方日本債券は20年間でわずか23万円しか殖えませんでした。

下図は積立開始から2012年までのグラフです。

株式型の評価額は2008年のリーマンショックで積立額を大きく下回りました。リーマンショック後しばらくの間は、ギリシャ危機などにより回復についても懐疑的な見方が多かった時期です。



この20年で資産を殖やした人と殖やせなかった人を比べると以下になるといいます。

殖やした人

株式型を選択、2007年には30%以上値上がりしていたが取崩し時期はまだ先なので利益確定せずに株式型の積立てを継続。

リーマンショックにより一気に評価損になっても積立を継続（できれば増額を検討）。リーマンショックから回復して値上がりしてきたが取崩し時期が先なので利益確定はせずにさらに継続。

殖やせなかった人

値下がりや元本割れが怖いので債券型や元本確保型を選択しそのままにしていた。

資産を減らした人

当初は債券型、元本確保型を選択したが、2007年に株式型を選択した同僚の経過を見て株式型にスイッチング。翌年リーマンショックで大幅なマイナスになり、やっぱり株式は怖い、と再度債券型・元本確保型に戻し、そのまま継続。

このケースでは単に殖えなかっただけでなく、値動きやニュースに惑わされて投資先をコロコロ変えたことで資産を減らすことになってしまいました。

株式の基本的な仕組み、資本主義社会の仕組みが今までと同様であれば今後も同様の傾向が期待できると考えることができます。

長期の積立投資では、マーケットの動きに合わせてたり予想したりするのではなく、じっくりと積立を継続することが大切です。

ちょっと気になるお金のコラム

今まで何回か家計簿をつけようとしたが長続きしなかった。今年こそは、とお考えの人もいるのではないのでしょうか？

長続きしなかった人にその理由を聞いてみると、

- 目的・目標があいまいでつけることが目的となってしまった
- 細かく分類するのが面倒になってしまう
- 1円単位で合わないと感じが済まない

が主な原因のようです。つまり細かいことを気にせずに目的・目標を明確にすることが続けるために大切だということになります。

「家計夢ノート」を参考にしてみる

「家計夢ノート」は、金融広報中央委員会（事務局日銀内）に掲載されています。
（家計夢ノート 知るぽると、で検索）

「家計夢ノートの特徴」は、まず初めに長期のライフプラン、を思い浮かべること、から始めるところです。

将来起こる出来事とそれに必要な金額を明確にします。ファミリー層の記入例、中高年層の記入例、さらに住宅や教育など一般的にかかる費用例なども載っているので、それを参考にしながら計画を立てていけば良いでしょう。

その上で、年間計画、月間計画を立てていきます。年計画・月計画を立てると今年自由に使えるお金の目安がわかります。

ここで今年の貯蓄額を決めます。

貯蓄先取り方式

ポイントは「貯蓄先取り方式」です。

収入－支出＝貯蓄、ではなく、
収入－貯蓄＝支出、にすることで将来の準備をしながら安心してお金を使うことができます。

お金をしっかりと貯めている人は「貯蓄先取り」です。「支出先取り」をしている人は今年から「貯蓄先取り」に変えてみてはいかがでしょうか？

記録する

計画を作ったうえで日々の家計管理をしていきます。目的は将来の計画・夢の実現、なので細かい費目に悩む必要はありません。

記録して月に一度チェックをしましょう。貯蓄予定額に対して順調に進んでれば家計の細かい費目にこだわる必要はないかもしれませんね。

家計管理もビジネス同様PLAN→DO→CHECK、が大切なのです。すでに家計簿を購入している人、アプリを使っている人は、計画の部分を参考にしていかがでしょうか？

また、先取りした貯蓄をどのような商品にしておけば良いのか、などのご相談があればお気軽にご連絡ください。

